

早稲田大学 国際教養学部 数学 講評

出題形式	空欄補充形式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
問 1	(1) 整数 (2) 絶対値付の関数	教科書に載っている不定方程式。基本問題。 場合分けをしてグラフを描けば簡単。	易 易
問 2	(1) 三角関数 2次関数の最大 (2) 空間ベクトル	2次関数の最大に帰着できる。場合分けの誘導もついているのでこれは落とせない。 (i)は内積計算をするだけ。(ii)は誘導がなくいきなり体積を聞いてきたので受験生には厳しいだろう。	やや易 標準
問 3	微積 3次方程式	$x^3 - 3mx + m - 3 = 0 \Leftrightarrow x^3 - 3 = m(3x - 1)$ と分離しないとキツイ。 直線 $y = m(3x - 1)$ は常に $(\frac{1}{3}, 0)$ を通る直線で、これと曲線 $y = x^3 - 3$ の交点を考える。その際、直線が接線になるときが境界である。	やや難
問 4	確率	基本的な問題なので計算ミスに気を付けて全問正答したい。	やや易

〔総合コメント〕

難易度や量とも昨年並みである。問 1、問 2 の (1)、問 4 は簡単で、問 2 の (2)、問 3 は難しい。設問間における難易度の差が激しいので、簡単な問題の失点が命取りである。問 3 は上記のような解法が思いつけば簡単だが受験生にはかなりきつかったと思われる。完答できなくてもそれほど問題ない。